

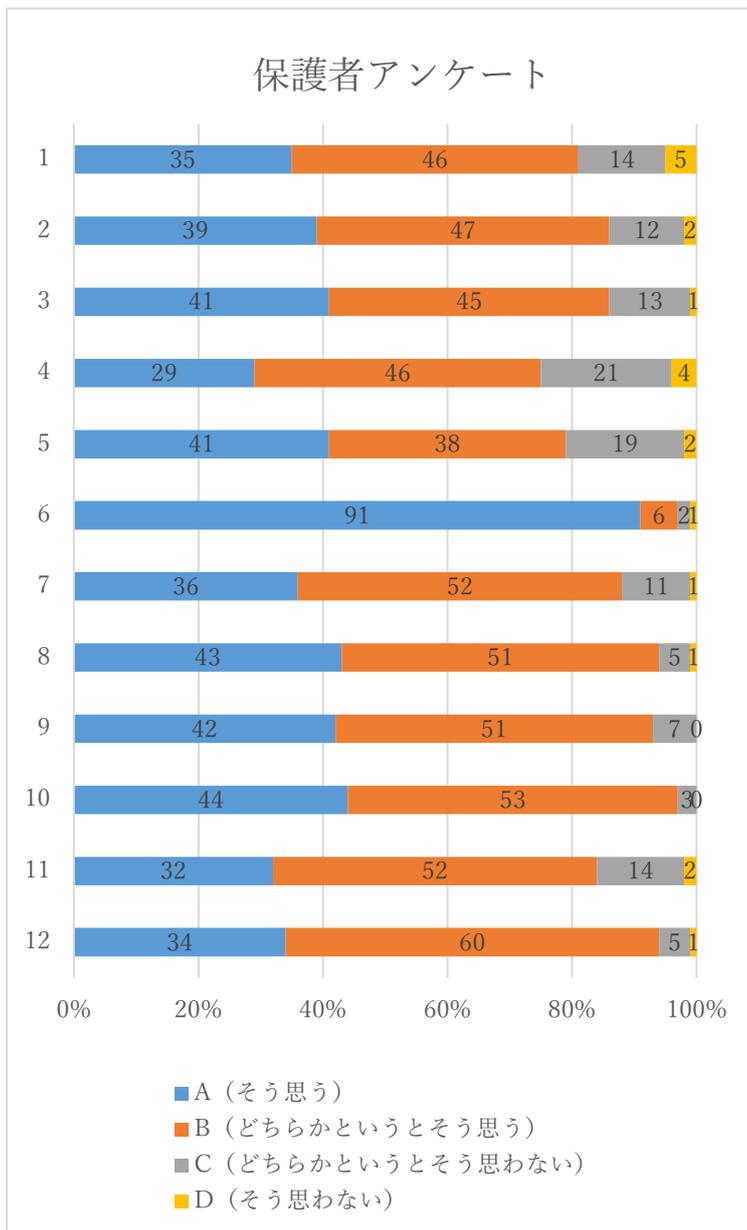
夢が丘

北小だより「夢が丘」
2023(令和5)年2月24日
NO.6
上田市立丸子北小学校
自己評価委員会

「児童アンケート」「保護者アンケート」の集計結果報告

12月の「児童アンケート」「保護者アンケート」の集計結果をご報告申し上げます。アンケート実施の際は、ご協力いただきありがとうございました。ここにアンケートの集計結果と来年度の方向をまとめました。このアンケート結果を日々の指導や学校運営等に反映させていきたいと思っております。今後とも学校へのご支援をよろしく申し上げます。

1. 保護者アンケートの結果（回収人数199人）



【保護者アンケートの項目】

- ① お子さんは家庭や地域の中で明るく挨拶ができています。
- ② お子さんは誰とでも仲良く遊んでいる。
- ③ お子さんは学校へ行くのを楽しみにしている。
- ④ お子さんは家庭学習に自分から進んで取り組んでいる。
- ⑤ お子さんは家庭で学校の話をよくする。
- ⑥ お子さんは朝ご飯を毎朝食べてから登校している。
- ⑦ お子さんの学習への取り組みについていつも関心をもっている。
- ⑧ 教師は、子どもたち一人ひとりの基礎基本を身につけるために、授業の工夫や個に応じた指導を行っている。
- ⑨ 学校は地域の人や自然と関わった特色ある学習活動をしている。
- ⑩ 学校は、「学校便り・学年便り・ホームページ」などで、学校の様子をわかりやすく伝えようとしている。
- ⑪ 学校は登下校時の交通安全確保や不審者対策について適切な手だてをうっている。
- ⑫ 学校は保護者や子どもからの悩みや相談に対して適切な対応をしている。

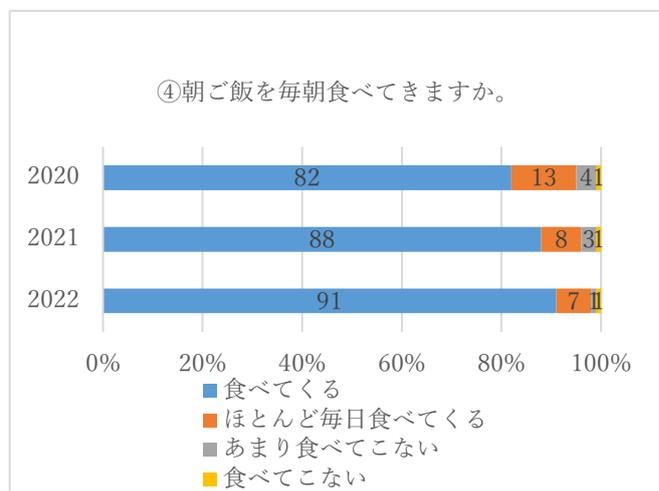
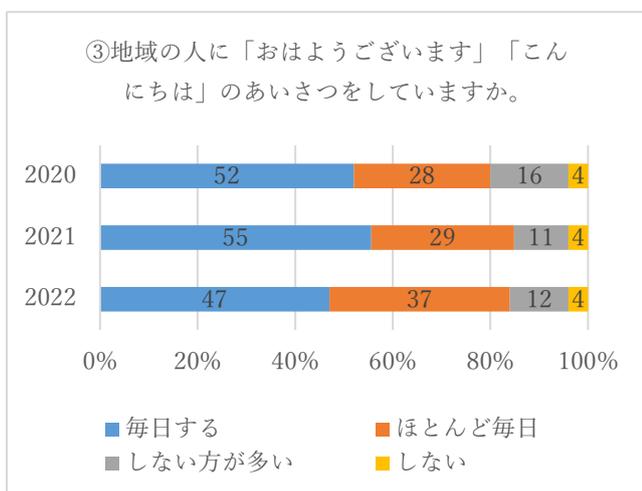
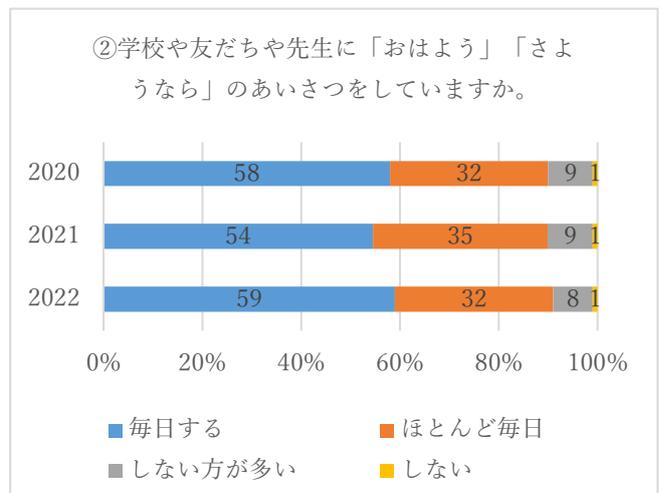
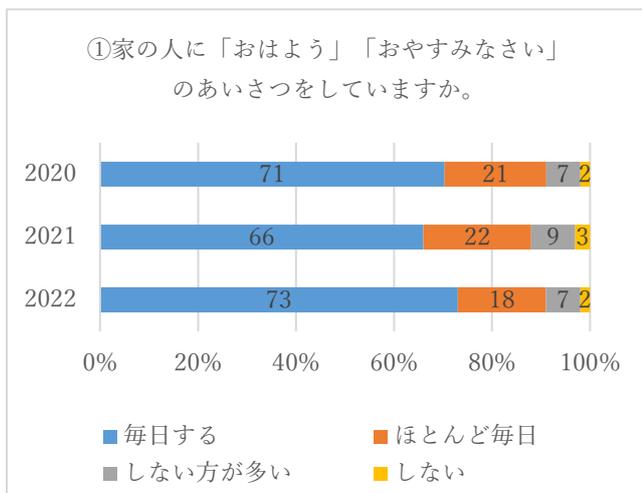
【保護者アンケート結果から】

ほとんどの項目で、A（そう思う）とB（どちらかというと思う）の肯定的な回答を合わせた割合が90%近く、またはそれ以上の高い評価をいただきました。

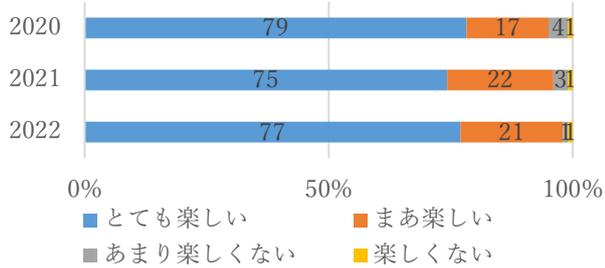
特に、項目⑧では、授業の工夫や教師の指導に対し高い評価をいただきました。今年の学校の重点目標の一つに「学力向上」があり、主体的で対話的な深い学びの実現を目指して子どもたちと共に授業を作ってきましたが、評価していただいたことを糧に、さらに学力向上を目指して、子どもたちと共に授業を作っていきたいと思えます。

本年度の重点項目「あいさつ」「認め合う学級づくり」「心みがき清掃」についても、多くの保護者の方から肯定的な評価をいただきました。一方で、「わからない」という回答も多く（20～30%）ありました。学校の目指すものや児童のよさをしっかりとご家庭にお伝えするという点につきまして課題が残りました。引き続き学校と家庭とが連携し、さらに子どもたちが成長していけるように努めていきたいと思えます。

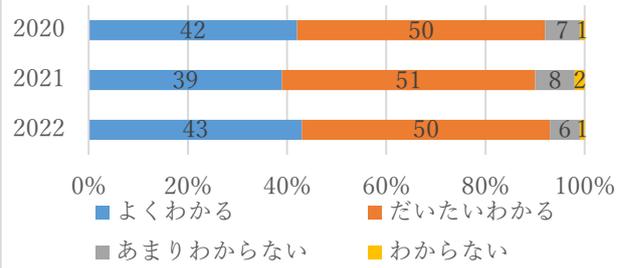
2. 児童アンケートの結果



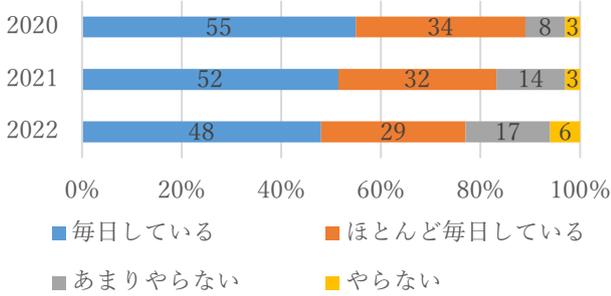
⑤学校で友だちといっしょに勉強したり遊んだりすることは楽しいですか。



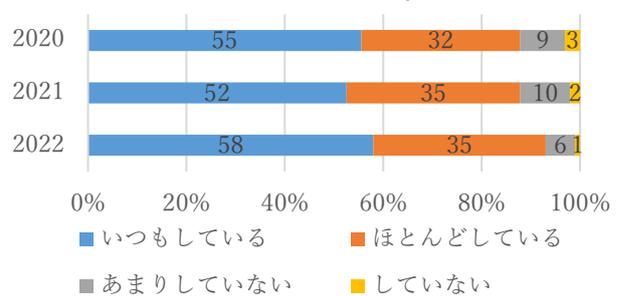
⑥勉強はよくわかりますか。



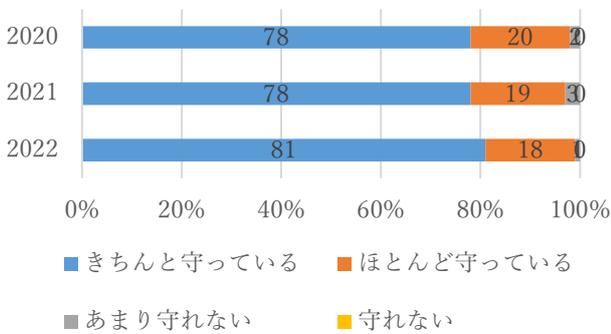
⑦各学年で示された時間を目安に、宿題を自分から進んでやっていますか。



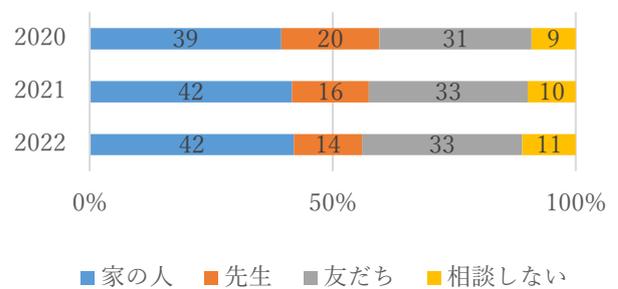
⑧だれとでも仲良く話したり、遊ぼうとしたりしていますか。



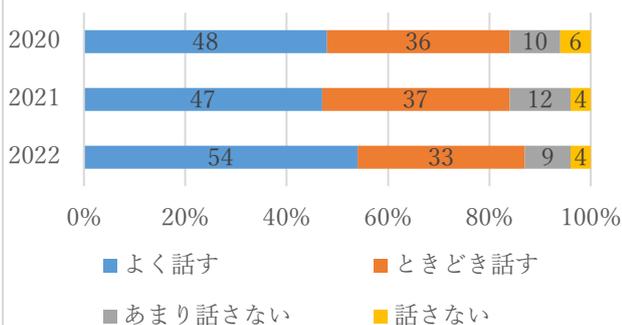
⑨交通ルールを守って登校や下校をしていますか。



⑩で困ったことがあった時、一番はじめに相談する人は誰ですか。



⑪の人に学校であったことを話していますか。



【児童アンケート結果から】

- (1) 質問項目①～③のあいさつに関する内容ですが、全体として90%以上の児童が「毎日している」「ほとんど毎日している」と回答していました。③の地域の方へのあいさつに関しては85%程と若干下がるものの、それでもここ3年間の結果を見てみると、あいさつがなかなかできないと回答する児童の割合が、わずかずつですが減ってきています。児童会でのあいさつへの取り組みや、地域の方々が児童を温かく見守ってくださっていることの表れだと考えられます。今後も引き続き、あいさつが広がるように取り組んでいきます。
- (2) 質問項目④の朝食に関する質問については、90%を超えるほとんどの児童が「食べてきている」と回答しました。各家庭で児童の生活や体調管理に気をつけ、学校に送り出してくださっていることがうかがえます。
- (3) 質問項目⑤⑧「学校での友だちとのかかわり」に関する質問では、どちらも90%を超える児童が「楽しくかかわっている」とする内容の回答をしています。この割合は過去3年間で少しずつ上昇しており、本校で重点目標として掲げて取り組んでいる「認め合う学級づくり」や、児童会をはじめとした交流活動等、様々な取り組みの成果が表れてきているのではないかと考えられます。楽しくないと感じたり、不安を感じたりしている児童に対しても、引き続き温かく寄り添いながら支援を重ねていきます。
- (4) 質問項目⑥⑦は学習にかかわる項目です。「勉強が分かりますか」の質問については、90%以上の児童がプラスの回答をしています。過去3年間を見ても少しずつ上昇しており、多くの児童が学習に前向きに取り組んでいることや、学び合い学習を大切にした授業改善への取り組みなどが、成果としてあらわれているのではないかと考えられます。今後も授業改善に努め、「わかった・できた」をすべての児童が実感できるような授業づくりを目指していきます。
一方で、⑦「宿題（家庭学習）」にかかわる項目では、「あまりやらない」「やらない」と回答した児童が23%に上り、年々増えている結果となりました。現状としては、ほとんどの児童が出された課題にきちんと取り組んでいるので、この数字ほど取り組むことができていないという感じはしていません。質問項目の文章に、家庭学習の手引きで示されている「目安の学習時間」も書いてあったため、学習時間がそれに達していないと考え回答した児童も多いと考えられます。しかし、この結果をしっかりと受け止め、家庭学習の意義や方法など改めて確認し、学習習慣が身につけていくよう家庭とも連携を図ってまいります。ご協力をお願いします。
- (5) 質問項目⑨「交通安全」については、80%以上の児童が「いつも守っている」と回答し、「ほとんど守っている」と回答した児童も合わせると、ほぼすべての児童が守れているという結果でした。今後も引き続き安全にかかわる指導や声かけを行い、「いつも守れる」児童が増えていくように取り組んでいきます。
- (6) 質問項目⑩⑪「児童の相談・家庭での会話」にかかわる項目について、⑪の結果から87%の児童が学校であったことを家の人に話すという回答をしました。また、⑩の結果から、困ったことがあったときに家の人に相談すると回答した児童も多いことから、家庭においても児童の話をよく聞いてくださっている様子がうかがえます。困ったときの最初の相談相手として「先生」と回答する児童が少しずつ減っている傾向が見られました。日頃から児童の声をよく聞き、話しやすい関係を築いていくよう努めるとともに、児童とかかわる時間が少しでも増えていくよう考えてまいります。

★★★今後に向けて★★★

保護者の皆様には、今年度も学校の教育活動をあたたかく支えていただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。いただいたご意見やご要望を真摯に受け止め、改善して参りたいと思います。

また、今後も児童理解や授業改善、非違行為防止等に心がける等、教職員の資質向上に力を入れ、子どもたちが安心して楽しく学習し、生活できるよう努めてまいります。よろしく願いいたします。